

### 3. 調査項目の説明

#### 岡山市作成の利用調査票使用

##### ①【調査票1】利用前調査票

利用者基礎情報や機器の利用きっかけ、機器の利用前の服薬支援に関する困りごとや機器利用前に受けている服薬支援の内容・支援支援者、薬の飲み忘れ・薬を重複して飲んでしまうこと・服薬量の間違いの頻度を調査

##### ②【調査票2】利用後調査票

薬を機器にセットする人・機器の使用頻度・薬を機器にセットする頻度等の機器の利用実態や、また機器利用後の薬の飲み忘れ・薬を重複して飲んでしまうこと・服薬量の間違いの頻度を調査

##### ③【調査票3】介助負担確認シート

回収中

##### ④【調査票4】利用者満足度調査・【調査票5】介助者満足度調査

機器の満足度や安全面については、福祉用具満足度を評価する指標である QUEST を一部参考に、利用者満足度や介護者満足度を調査した。

令和5年4月より新規利用者については、①利用前調査票と利用3ヶ月後に②で調査したものを比較。既存の利用者については①利用前調査票がなく、調査票②を用いて令和5年6月に1回目、令和6年1月に2回目の調査を実施して2回のデータを比較しており参考として比較した。

#### 4.有効性に関する評価

##### 4-1対象者一覧(図表1) 新規利用者(n=21)

※令和5年度新規利用者37名の内、令和5年12月時点での利用者が28名。令和6年1月～3月の新規医療者(9名)については報告時に3ヶ月に満たしておらず対象外とした。また、令和5年12月までの新規利用者の中で3ヶ月未満で終了したもの(7名)を除き、以下21名で検証している。

NO	年齢	性別	要介護度	日常自立支援度	服薬頻度	服薬回数/日	配剤方法	薬剤の数
1	89	男	要介護2	II b	ほぼ毎日(週4日以上)	4	一包化	12
2	85	女	要介護2	II a	ほぼ毎日(週4日以上)	3	一包化	21
3	92	女	要介護1	II b	ほぼ毎日(週4日以上)	2	一包化	8
4	82	男	要介護1	II b	ほぼ毎日(週4日以上)	2	一包化	14
5	73	男	要支援1	II a	ほぼ毎日(週4日以上)	4	一包化	8
6	80	女	要介護3	II a	ほぼ毎日(週4日以上)	3	一包化	7
7	80	女	要介護2	III a	ほぼ毎日(週4日以上)	2	一包化	5
8	88	女	要支援2	i	ほぼ毎日(週4日以上)	3	錠剤	12
9	82	女	要介護2	II b	ほぼ毎日(週4日以上)	2	一包化	7
10	83	女	要介護4	II b	ほぼ毎日(週4日以上)	3	一包化	8
11	70	女	要介護3	自立	ほぼ毎日(週4日以上)	4	一包化	22
12	81	女	要支援1	自立	ほぼ毎日(週4日以上)	4	一包化	14
13	85	女	要介護1	II a	ほぼ毎日(週4日以上)	2	一包化	4
14	75	女	要介護3	III a	ほぼ毎日(週4日以上)	4	一包化	8
15	86	女	要介護1	II b	ほぼ毎日(週4日以上)	5	一包化	22
16	78	女	要介護1	II b	ほぼ毎日(週4日以上)	1	一包化	6
17	86	男	要介護1	II b	ほぼ毎日(週4日以上)	3	一包化	7
18	86	女	要支援2	i	ほぼ毎日(週4日以上)	2	錠剤	11
19	59	女	要介護1	II a	ほぼ毎日(週4日以上)	2	錠剤	4
20	83	女	要介護2	II b	ほぼ毎日(週4日以上)	3	錠剤	11
21	92	女	要介護1	II a	ほぼ毎日(週4日以上)	2	錠剤	8

#### 既存利用者(n=14)

※令和5年度既存利用者23名の内、令和5年6月及び令和6年1月の二度の検証時期に貸与を受けており、かつ無回答者を除いた14名で検証している。

No	年齢	性別	要介護度	日常自立支援度	服薬頻度	服薬回数/日
1	89	女	要介護1	I	ほぼ毎日(週4日以上)	3
2	71	男	要支援1	自立	ほぼ毎日(週4日以上)	2
3	81	女	要介護1	I	ほぼ毎日(週4日以上)	3
4	83	女	要介護1	II b	ほぼ毎日(週4日以上)	3
5	74	男	要介護1	II b	ほぼ毎日(週4日以上)	4
6	91	女	要介護1	III a	ほぼ毎日(週4日以上)	2
7	70	女	要介護1	II a	ほぼ毎日(週4日以上)	4
8	85	女	要介護1	II a	ほぼ毎日(週4日以上)	2
9	81	男	要介護1	II a	ほぼ毎日(週4日以上)	3
10	94	女	要介護1	II a	ほぼ毎日(週4日以上)	3
11	86	男	要支援1	II a	ほぼ毎日(週4日以上)	3
12	70	女	要支援1	I	ほぼ毎日(週4日以上)	3
13	76	女	要介護2	II a	ほぼ毎日(週4日以上)	4
14	60	女	要介護3	II b	ほぼ毎日(週4日以上)	2

#### 4-2 実証方法

- ・実証場所は「お薬飲んでね！」を介護機器貸与モデル事業にてレンタルしている要介護者の居宅
- ・実証期間は令和5年4月から令和6年3月
- ・利用者はレンタル価格の1割負担相当額である月額880円(税込)を支払い、レンタル利用
- ・調査票は直接訪問、FAX、郵送、またはメールで回収
- ・新規利用者は利用開始前と利用開始後3ヶ月で各調査票を使用して比較、既存の利用者は【調査票2】利用後調査票を使用して、令和5年6月と令和6年1月に2度実施したものを比較
- ・機器利用前と機器利用後の薬の飲み忘れ頻度・薬を重複して飲んでしまう頻度・服薬量の間違い頻度比較。また、2023年に調査票を見直したため、それ以前から機器を使用していた既存の利用者については、利用前後及び3か月毎の比較が困難であるため、月次毎の集計としている。

#### 4-3 評価方法

「調査項目の説明において説明」参照

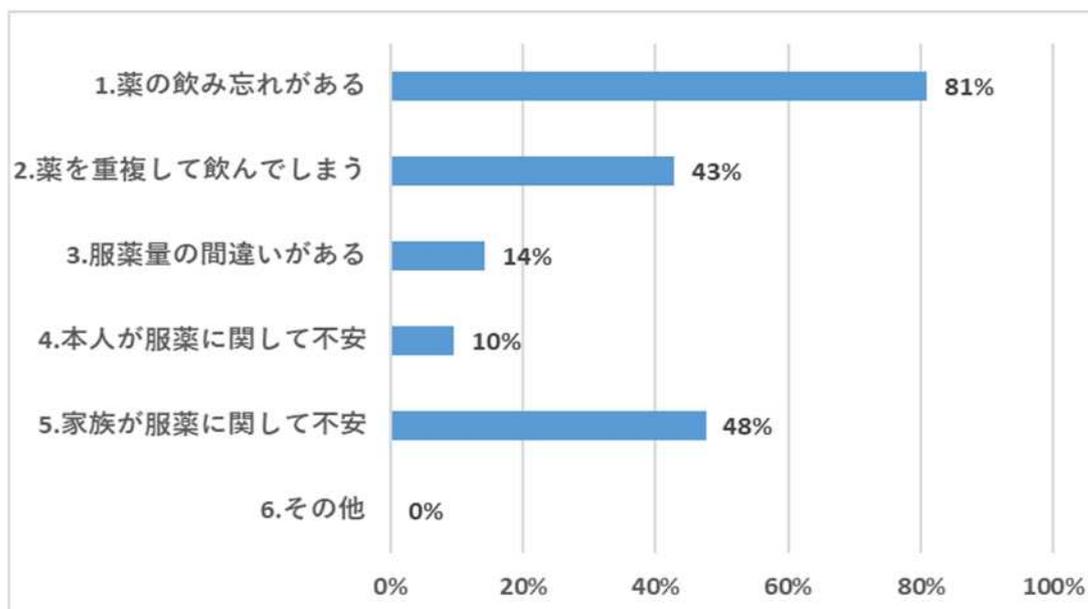
## 5. 効果検証のとりまとめ

### 5-1 利用前の服薬支援に関する実態

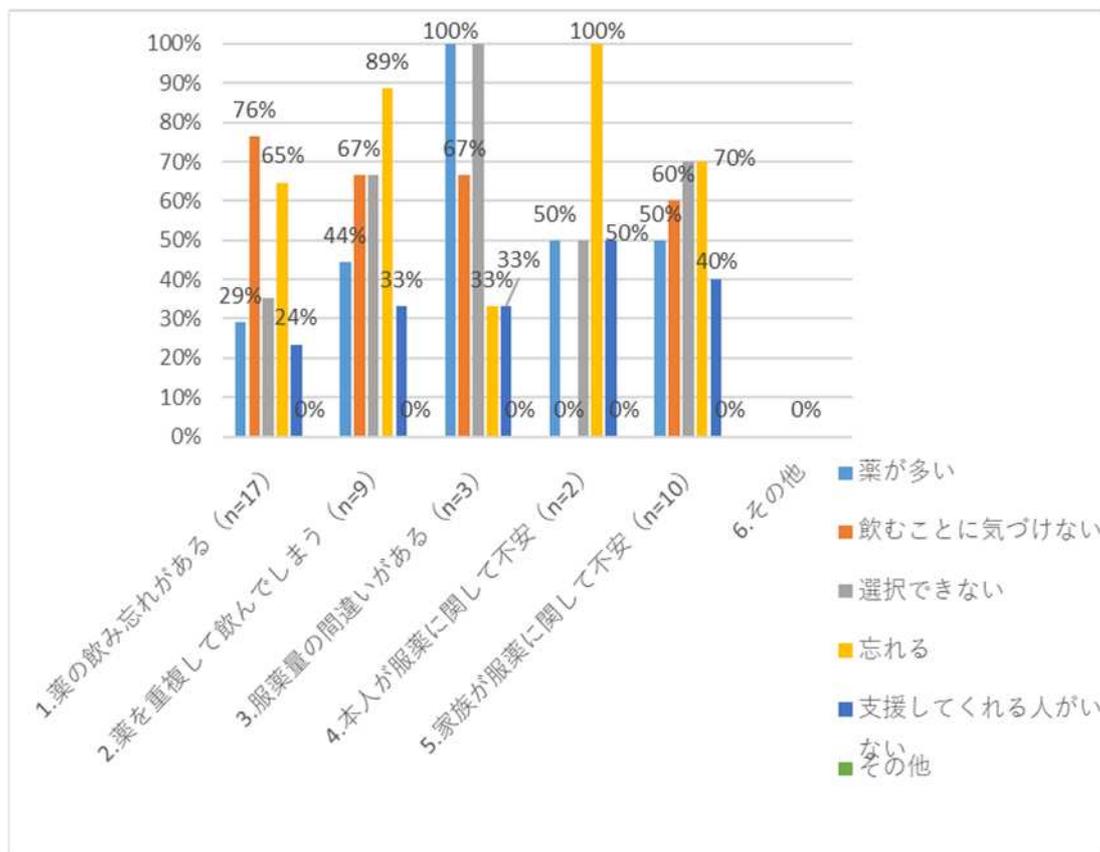
#### ①機器利用のきっかけとその理由

機器の利用のきっかけ、その理由としては「薬の飲み忘れがある」が 81%と最多であり、次に「家族が服薬に関して不安」が 48%、「薬を重複して飲んでしまう」が 43%であった。また、「薬の飲み忘れがある」ことをきっかけに機器の利用を開始した方はその理由として、76%が「飲むべき時に薬を飲むことに気づけない」「薬を飲んだことを忘れてしまう」と回答している。(図表2)また、「薬を重複して飲んでしまう」ことをきっかけに機器利用を開始した方のうち「飲むべき時に薬を飲むことに気づけない」及び「飲むべき時に飲むべき薬を適切に選択できない」と 68%の方が回答し、全ての方が「薬を飲んだことを忘れてしまう」と回答した。(図表3)

図表2 機器を使用するきっかけ【複数回答】《調査票1-問1(1)》(n=21)



図表3 機器を使用するきっかけとその理由《調査票 1-問1(1)・(2)》(n=21)

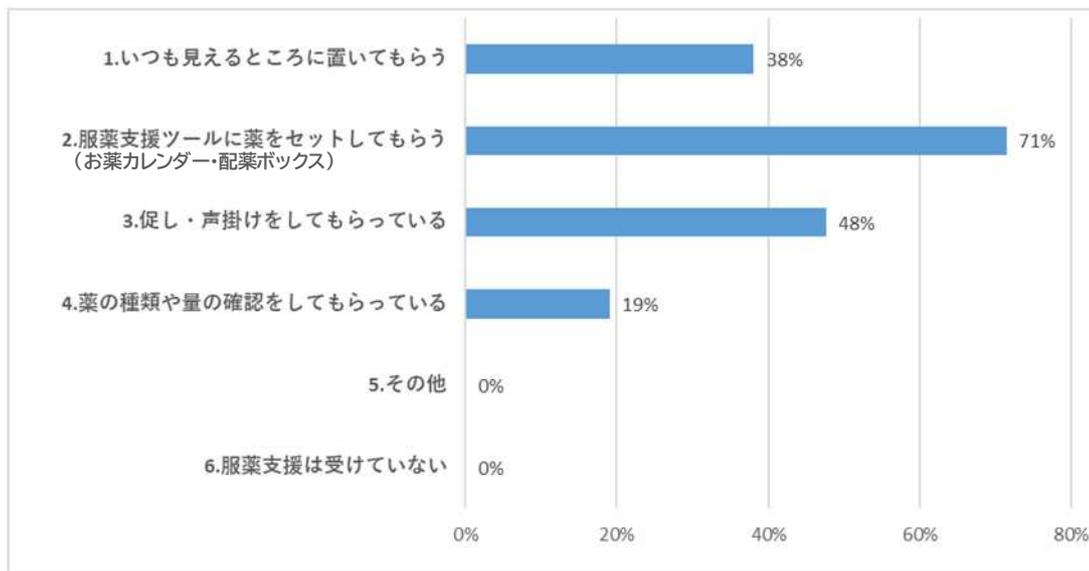


## ②機器利用前の服薬支援機の内容、支援者、その頻度

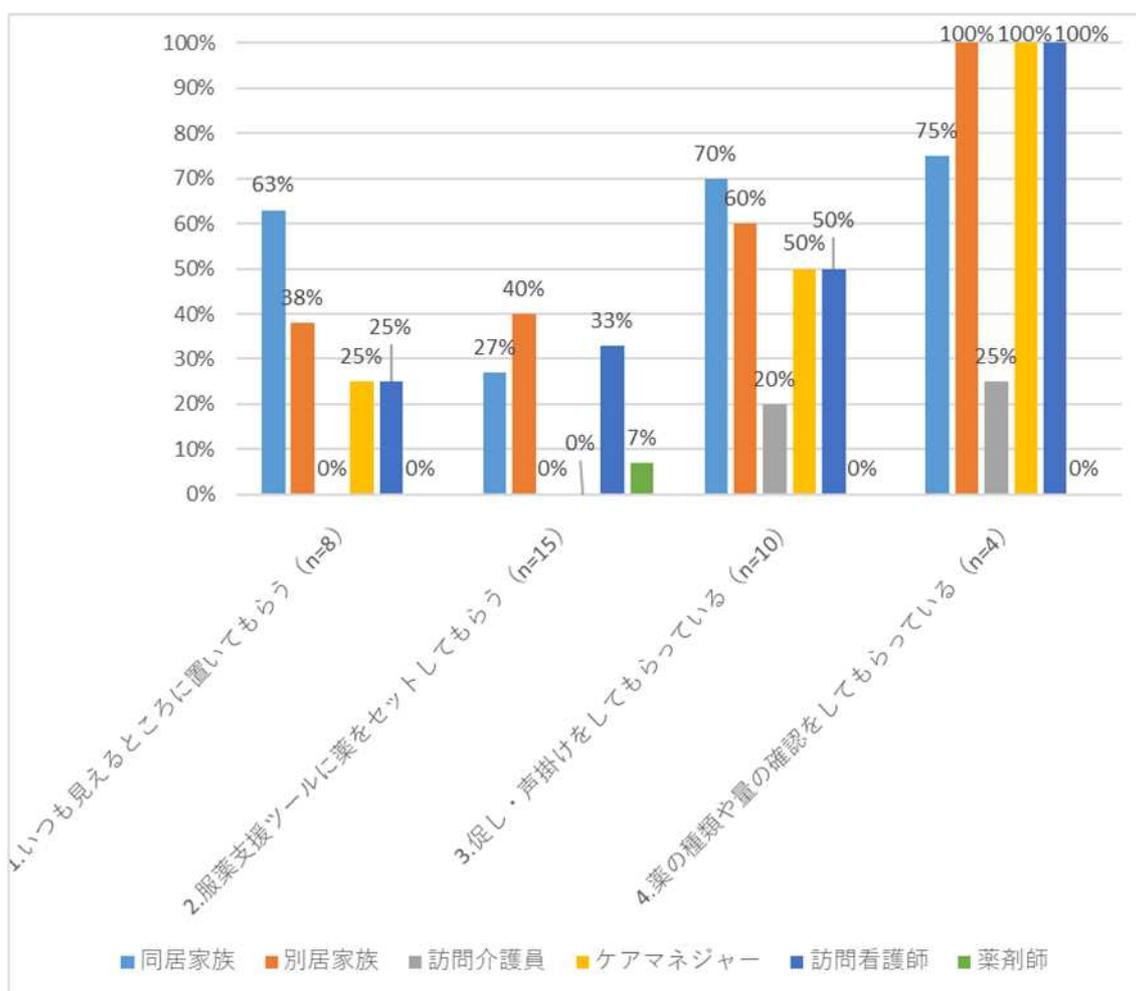
機器利用前の服薬支援としては、機器利用前からお薬カレンダーや配薬ボックスといった服薬支援ツールを使用しており「服薬支援機ツールに薬をセットしてもらおう」と答えた方が71%と最多で、続いて「促し・声掛けをしてもらっている」が48%、「いつも見えるところに置いてもらおう」が38%「薬の種類や量を確認してもらっている」が19%であり「服薬支援は受けていない」と回答した人はいなかった。(図表4)また、「服薬支援ツールに薬をセットしてもらおう」と回答した人のうち、支援者が「別居家族」と回答した人が40%、「訪問看護師」と回答した人が33%であった。(図表5)

服薬支援の頻度としては「ほぼ毎日(週4日以上)」と答えた人が最も多く70%、続いて「週2~3日」が10%であった。(図表6)

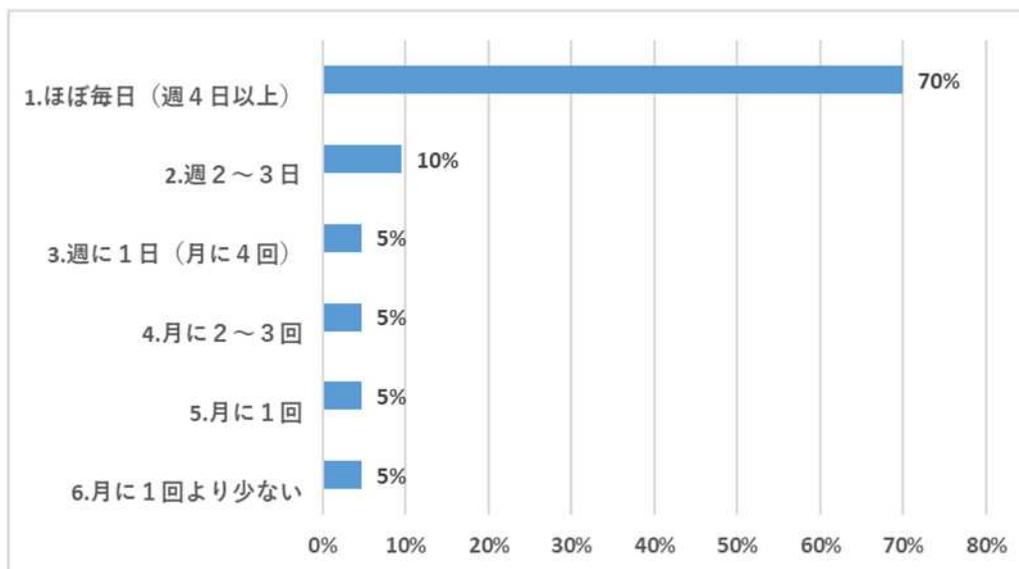
図表4 機器利用前の服薬支援の内容【複数選択】《調査票1-問2(4)》(n=21)



図表5 機器利用前の服薬支援ごとの服薬支援者【複数選択】《調査票1-問(4)》(n=21)



図表6 機器利用前の服薬支援の頻度【複数選択】《調査票1-問2(6)(n=21)



#### 5-2 機器資料前、利用後の効果比較

\*新規利用者については、利用前及び利用後(3か月後)の利用効果を比較した。

\*既存利用者については、6月と1月の利用効果を比較した。

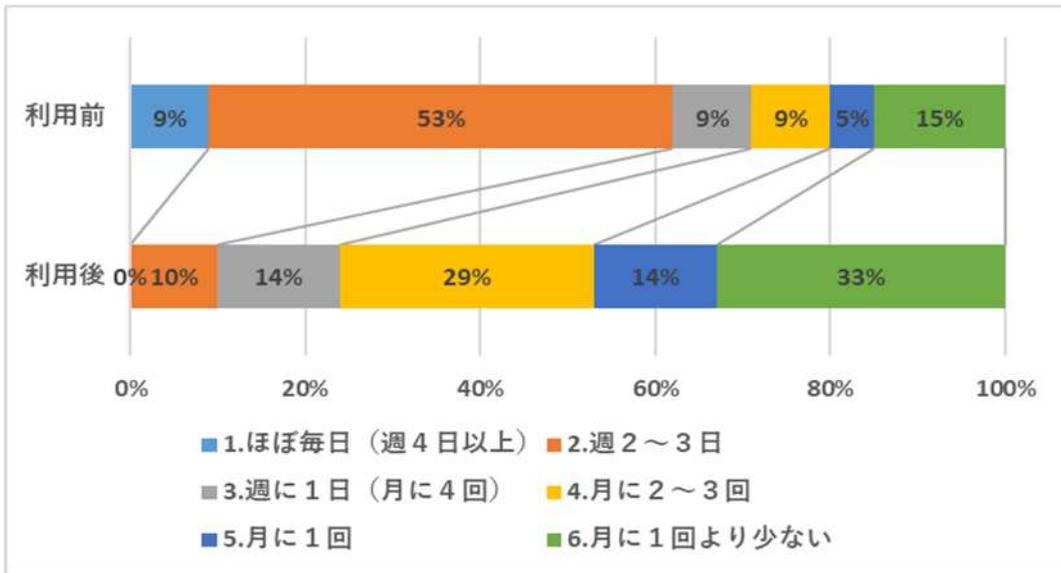
##### ① 薬の飲み忘れに関する効果比較

機器利用前においては、薬の飲み忘れ頻度は「週2~3日」と回答した方が53%と最多であり、「ほぼ毎日(週4日以上)」、「週に1日(月に4回)」、「月に2~3回」と回答した人がそれぞれ9%あった。それに対し機器利用後においては、薬の飲み忘れ頻度が「月に1回より少ない」と回答した人が33%と最多になっており、「週2~3日」と回答した方が10%に減少、「ほぼ毎日(週4日以上)」と回答した人が0%となった。

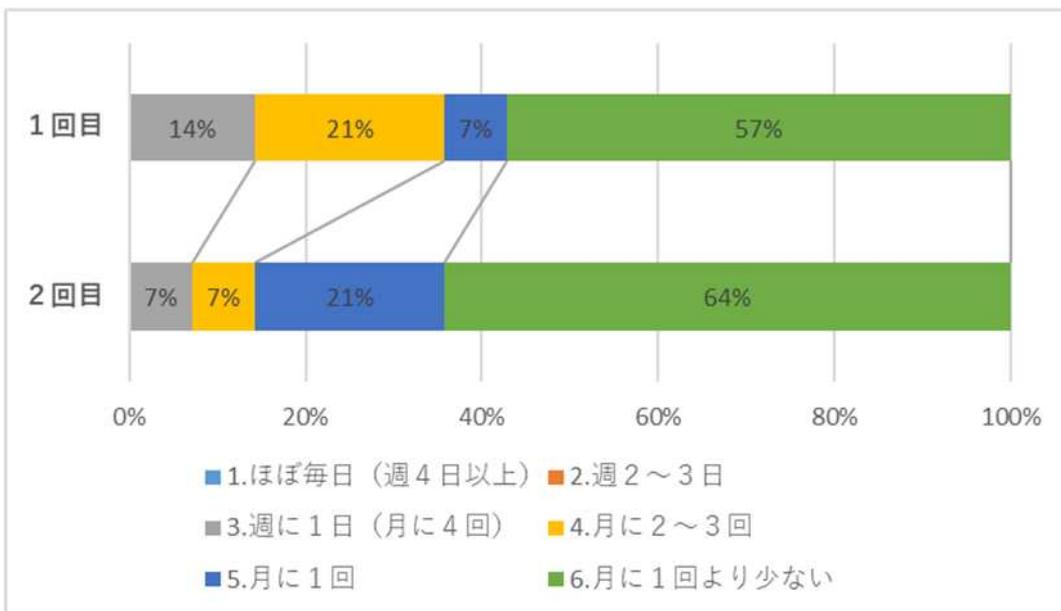
また、既存の利用者においても「月に1回より少ない」と回答した人が64%と改善傾向にある。(図表7-1・7-2)

図表7 機器利用前後の薬の飲み忘れ頻度に関する比較《調査票1-問2(7)・調査票2問4(1)》

新規利用者(n=21)



既存利用者(n=14)



図表7-2 機器利用前後の薬の飲み忘れ頻度に関する比較詳細《調査票1-問2(7)・調2-問4(1)》(新規は n=21、既存は n=14)

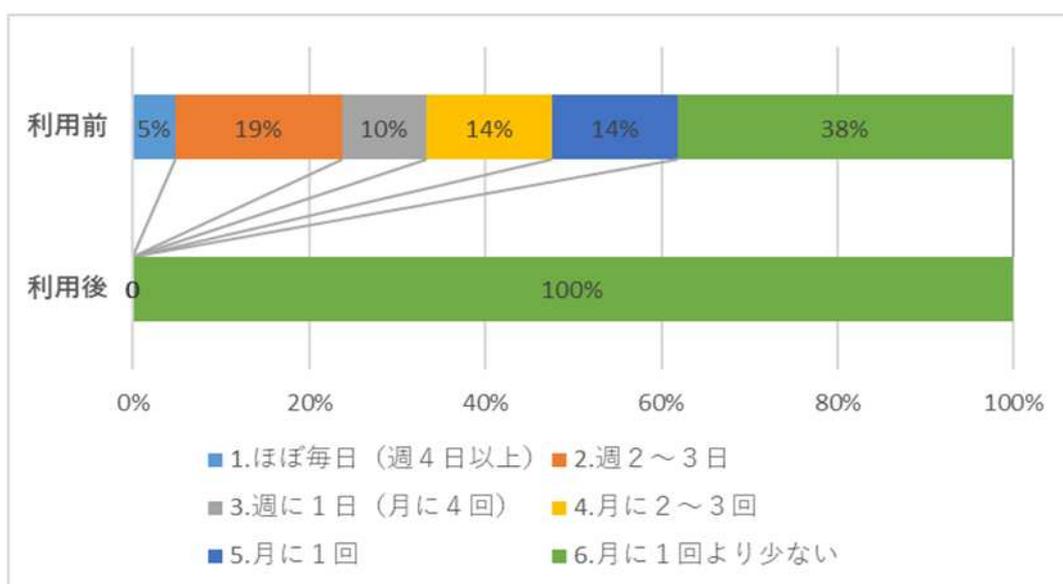
回答者	n=21		回答者	n=14	
	利用前	利用後		1回目/年	2回目/年
No1	1	6	No1	6	6
No2	2	2	No2	3	6
No3	4	5	No3	6	6
No4	2	2	No4	6	6
No5	2	4	No5	6	6
No6	3	6	No6	4	5
No7	5	5	No7	5	5
No8	6	5	No8	4	5
No9	2	3	No9	4	4
No10	6	6	No10	6	6
No11	4	6	No11	3	3
No12	2	3	No12	6	6
No13	3	4	No13	6	6
No14	1	6	No14	6	6
No15	2	4			
No16	2	5			
No17	2	3			
No18	6	6			
No19	2	6			
No20	2	4			
No21	2	4			

② 薬を重複して飲んでしまうことに関する効果比較

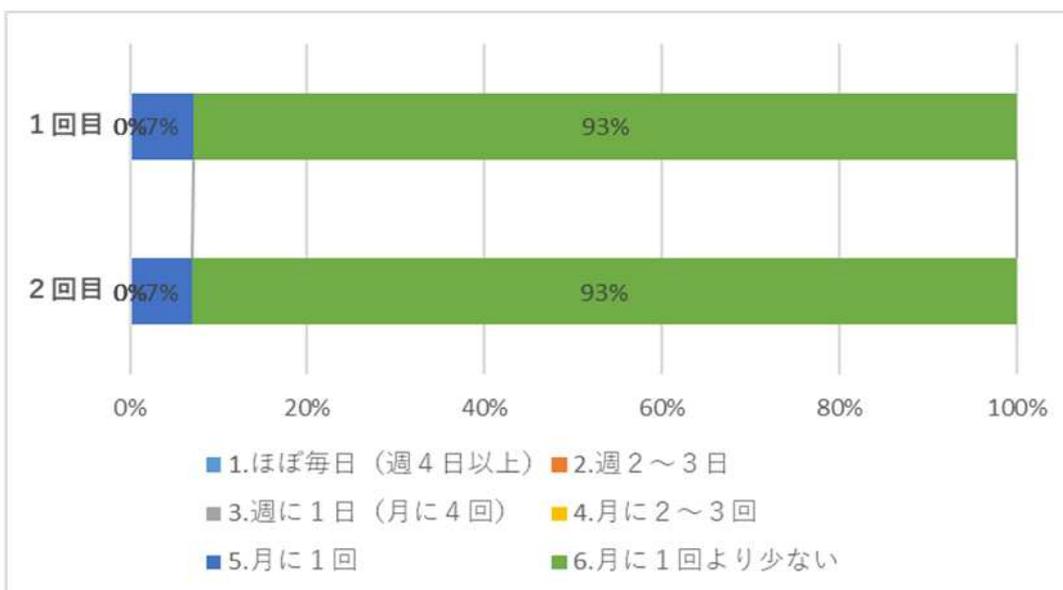
機器利用前においては、薬を重複して飲んでしまう頻度は「週2～3日」と回答した人が19%、「月に2～3回」「月に1回より少ない」と回答した人が14%「週1日(月に4日)」と回答した人が10%「月に1回より少ない」と回答した人が38%であった。それに対し、機器使用后においては「月に1回より少ない」と全ての人が回答した。

図表8 機器利用前後の薬の重複して飲んでしまう頻度に関する比較《調査票1-問2(8)・調査票-2問4(2)》

新規利用者(n=21)



既存利用者(n=14)

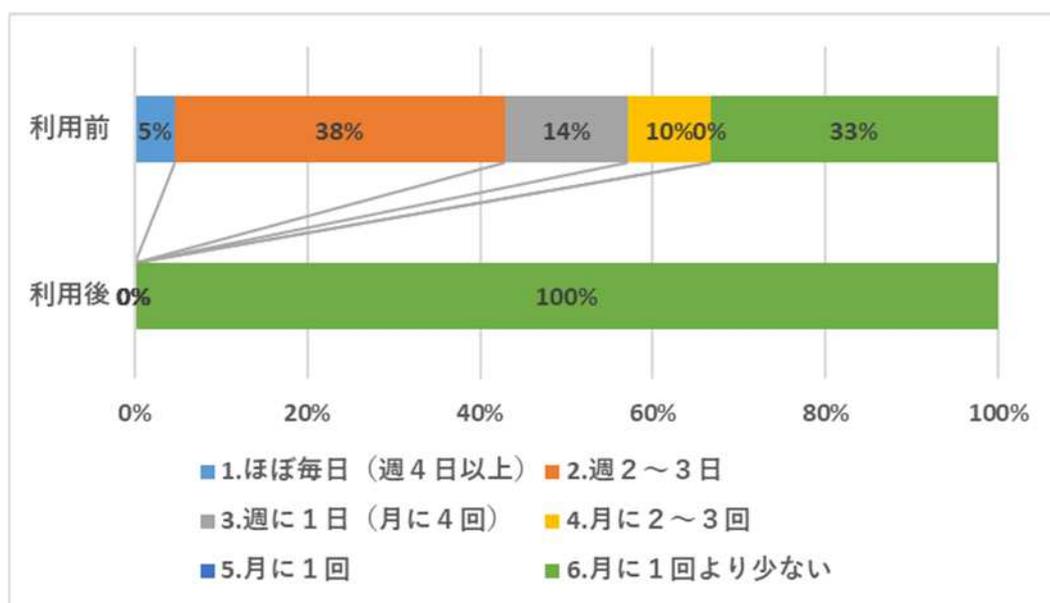


### ③ 服薬量の間違いに関する効果比較

機器利用前においては、服薬を間違えて飲んでしまう頻度は「週2～3日」と回答した人が38%、「週1日(月に4回)」と回答した人が14%、「月に2～3回」と回答した人が10%、「ほぼ毎日(週4日以上)」と回答した人が5%、「月に1回より少ない」と回答した人が33%であった。それに対し、機器利用後においては「月に1回より少ない」と全ての人が回答した。既存者も同様の回答であった。

図表9 機器利用前後の服薬量を間違えて飲んでしまう頻度に関する比較《調査票1-問(9)調査票2-問4(3)

新規利用者(n=21)



既存利用者(n=14)

